

平成28年度第5回岡山県地方独立行政法人評価委員会の議事録

- 1 日 時 平成28年7月20日（水）10:00～11:30  
 2 場 所 公立学校共済組合岡山宿泊所ピュアリティまきび3階 橘  
 3 出席委員 末長委員長、清水委員、小田委員、江原専門委員、田淵専門委員  
 4 議 事

- (1) 地方独立行政法人岡山県精神科医療センター平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について  
 質疑の冒頭に事務局から評価結果（案）について説明が行われ、続いて委員からの質疑が行われた。以下  
 はその概要である。

委員発言要旨	地方独立行政法人及び事務局発言要旨
<p>長期入院患者さんの対象が1年だと思っ                      ます。1年半にされたのは何か意味がある                      のですか。</p> <p>7ページだったら2年以上にすると11人                      になるので非常に数値も上がるんじゃない                      かと思っただけです、そういうことなの                      ですね。</p> <p>20ページ、余り本質的なことじゃない                      ですけども、計画の方が月40件以上にな                      っていますが、実施状況のほうは人という                      こと、件じゃなくて人になっているので、                      できれば比較するのであれば単位は同じ                      方がいいのではないかと思います。</p> <p>そのポイントが増が9件に対してポイン                      トを下げていたのが8件で、3の評価自                      体はそんなに悪い評価じゃないって言わ                      れるんですけども、何かイメージとして                      下げているのはどうなのかなという。例                      えば先ほどの20ページの月40件にし                      ても月平均44.3人ですから、件にし                      ると多くなるのでしょう。目標値をさら                      に上回っているにもかかわらず4から3                      に下がるということで、何か随分自己評                      価が厳しいと感じます。</p> <p>まだまだ、努力ができるということ                      ですか。</p> <p>目標を達成しているかを評価される                      ので、違和感があるのですね。</p> <p>これは単位のほうは、計画の方に合                      わせるということで。</p>	<p>○岡山県精神科医療センター                      1年半にしたのは、医療観察法の状                      況が1年半でして、ライフラインが                      1年半ということになります。それ                      から、他の病棟においてはおっしゃ                      るとおり1年以上というのは一つ区                      分けをして対応をします。</p> <p>○岡山県精神科医療センター                      これは訪問看護にこれからもっと                      力を入れていこうと、力を入れてほ                      しいという内部へのメッセージもあ                      ります。4から3であれば十分では                      ないかなあと。その上がりしろがあ                      るということを示す必要があるとい                      うことです。</p> <p>○岡山県精神科医療センター                      そうですね。</p> <p>○岡山県精神科医療センター                      評価の全体の点数を、どんどん上                      げていくと、天井に当たってしまう                      かたちになるので、そうではない仕                      組みが本当はいるのですよね。</p> <p>○岡山県精神科医療センター                      退院前訪問というのは、どんどん                      短期の入院になっていますから、                      退院前に訪問することを別にして                      いると思うのです。そういう意味も                      あって退院前訪問についてはちょ                      っと厳しめの評価をしています。</p> <p>○岡山県精神科医療センター                      3にしたからといって評価を下                      げたというよりも、順調だとそう                      いうことです。</p>

県民に提供するサービスの向上、この辺のところは4から3に下げているところが多いのですが、まだまだ、これから訪問系に関してサービスしないといけないということで4から3へされてるのですか。

20ページ、21ページのところで3に下がったところが三つある。

そうです。まだまだこれから訪問系をしないといけないと言うことですか。

22ページの県内における精神科医療資源の乏しい地域での質の高い精神科医療というところでの質問なのですが、評価は本当にこのままで当然だと思うのですが、具体的に教えていただきたいのですけれども、児童思春期外来のニーズは大変高く、先日も倉敷の医療機関や相談支援センターをずっと回らせていただいたときに、倉敷のほうのこころクリニックと成人病センターでかなり飽和状態で受け入れもできない状態だというお話を聞かせていただきました。

この児童思春期外来の支援を今どこで行っていらっしゃるのかということと、今後県内、恐らく倉敷もそういった現状だとおっしゃっていましたし、とりわけ県北であったり、備前地域といったところのニーズも高い様子だと思うのですが、今後の傾向もあわせて教えていただけますでしょうか。

とりわけ、その精神医療の空洞地域と呼ばれている備前地域であったり、県北は向陽台でもサポートされているという現状なのですが、さらに今後の展望としてはいかがなのでしょう。

#### ○岡山県精神科医療センター

やらないといけないことが、増えてきたということです。目標達成してしまうと目標はさらにまた高く掲げられて、それに比べたらまだやるのがたくさんあるということで、下げるのなら結構というふうなやり方に今はしております。そのやり方がいいのかどうかはまた別の問題ですけど、幾らやっても切りがないと言うことです。

#### ○岡山県精神科医療センター

ここの部分ですが、今派遣をしているのは、一つは県北、落合、向陽台病院に、児童の外来を月に2回開設しています。そこの心理職とかワーカー職の方がそういった一緒にチームを組んだ形で、当院の医師が行けない場合は、そのスタッフがフォローされるという形で調整しています。

それと、あともう一つはまな星クリニック。これが就学前のクリニックで、ここは学童以降の小学生以降のクリニックになりますので、就学前の部分をきちんと永続的にそこから学童のほうにつなぐという意味もあって、そちらのほうに派遣しています。研修に行かせていただいているというのもあります。

あと、岡山市のこども総合相談所の児童精神科の医師が個人で外来を、児童クリニックを開設しています。逆に言いますと、ここの枠外にはなるのですが、保護相談所とか保健所、1、6、3検診なんかにも当院の心理職の方を派遣して、それらの中で特にここの年度計画では代表してその2つの部分について書いてある、そういう現状です。

人材育成をしたいというのが一番です。

#### ○岡山県精神科医療センター

現時点、備前地域のほうは西大寺病院と吉永病院のほうに子供ではないですけども精神科外来の開設を、そこに非常勤医師を派遣して、そういう形でその対応はしています。ただ、子供を診られるお医者さんというのはとてもまだ少なく、人材育成なしにはなかなかそこはまだ、目標にはしたいのですが。

事務局案のままという修正ですが、原案どおりでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

大変頑張られてレベルアップに病院だけでなく地域へも、もっともっとやっていこうということでされているという状況が大変すばらしいと思います。

そうしますと、この平成27年度の実績評価のこちらのほうは事務局案で決定ということでございます。

それでは次に、財務諸表などの承認に当たって委員会の意見を取りまとめたのですが、前回までの審議で特には問題ないと、適当と認められるということでもありますけれども、財務諸表についてご意見がございましたらよろしく願いたいと思います。

財務諸表について何かその後御意見等ございますでしょうか。

トーマツの監査、監査報告書の方も適正であるという意見が出ておりますので、その専門家がそういう意見がございましたので、特にございません。

財務諸表の承認については適当ということにいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

○岡山県精神科医療センター

それに関連してなんですけど、この岡山県精神科医療センターというのは、もともと岡山県立岡山病院だったので、県の病院として県下全体の精神科医療を視野に含めながら自分がやれることをきちっとやっていくということがあったわけです。今の計画もほとんどが病院を中心にしながらできる範囲ですというのを最終目的という形になってはいますが、いまま少し全体状況を踏まえながらきちんとしたシステムを組み上げていく検討が必要であろうと、そういうことが中期計画に全く必要ではないかというふうに僕自身は思っているところです。

- (2) 次期中期計画（素案）について  
委員間の率直かつ忌たんのない意見交換を図るため、非公開により議事を進行した。
- (3) その他  
今後の日程について確認。挨拶等

